

環太平洋パートナーシップ (Trans-Pacific Partnership: TPP) 協定は、アジア太平洋地域に位置する参加国の間で、貿易・投資の自由化、各種経済精度の調和等を行うことにより、参加国相互の経済連携を促す自由貿易協定 (Free Trade Agreement: FTA) の1つである。図に示したアジア太平洋地域の12カ国 (日本、アメリカ、オーストラリア、シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ、メキシコ、マレーシア、ペルー、ベトナム及びカナダ) の間で締結に向けた交渉が進められている。

北大工学研究准教授

佐野大輔

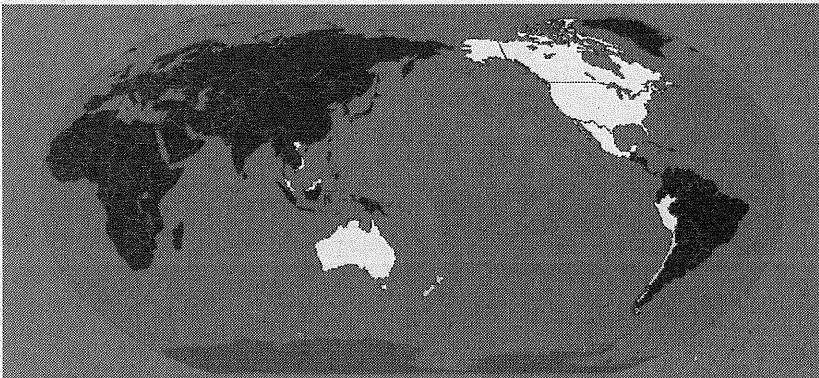
TPPは物品の貿易、サービス貿易、政府調達、知的財産権などの幅広い分野を対象とする包括的なFTAであり、例外品目を作らずに100%の貿易自由化を目指していることから、最終的な協定内容は日本国内の多くの産業が多大な影響を受けることが確実視されている。特に大きな影響を受ける分野の1つが農業、畜産業及び水産養殖業を含む第1次産業分野であり、関税が撤廃されることによって海外から安価な農作物や水産物が流入し、国内産業を圧迫することが懸念されていることから、関連した情報が盛んに報道されている。

このようにTPPは締結に向けた交渉段階にあり、最終的に協定が結ばれるか否かは明確でない状況ではあるが、TPP締結によって発生する悪影響を見極め、その対策を講じておくことは非常に重要であろう。これまでに様々なTPP締結の悪影響が指摘されてきているが、その中の1つに「輸入感染症の増加」がある。輸入が拡大することが予想されている安価な農作物や水産物が病原微生物により汚染されていた場合、その流通によって大規模な感染症を引き起こすことが懸念される。ノロウイルスに関する連載でTPPの内容を改めてご紹介した理由は、この「輸入感染症」という形でノロウイルスとTPPがリンクする可能性があるからである。

TPP締結・発効後の日本において生じうる輸入感染症を予見する上でのモデル国がいくつか存在する。昨年、ドイツ東部において中国からの輸入イチゴを原因とすると考えられる大規模なノロウイルス感染症が発生した。胃腸炎患者が1万人を超えるほどの規模であった。集団感染を引き起こしたノロウイルスの遺伝子型が複数見出されたため、食品を扱った人からの感染よりも、イチゴの栽培時に下水により汚染されたことが原因であると推測されている。

また、スペインでは輸入二枚貝を原因とする食中毒が度々発生している。ノロウイルスではないが、例えば1999年と2008年にはバレンシアを中心とする地域において、ペルーから輸入した二枚貝 (Donax sp.) を原因としたA型肝炎ウイルスによる感染症が発生した。1999年のケースの場合、輸入した二枚貝は欧州連合により設定された基準値を満たしていたが、検査対象となった二枚貝の75%がA型肝炎ウイルスに汚染されていたことが判明した。2008年のケースの場合、学童を対象としたA型肝炎ウイルスワクチン接種プログラムが1999年にスペインで開始されて10年近く経過した後に発生したものであったことから、スペイン国内及び欧州連合の衛生担当部署が対応を迫られる事態となった。

グローバル化は各方面で怒濤の勢いで進んでいるが、昨年ドイツで発生したような大規模な輸入感染症が、将来的に日本で起こらないという保障は全くない。輸入食品の検査体制の整備だけでなく、場合によっては輸入元における食品の管理体制に注文を付けることも視野に入れたFTAの締結などによる対応が求められると言える。(おわり)



TPP交渉国 (白抜)

ノロウイルス考 ―工学博士の視点から⑤

全国医学部長病院長会議は、「医系大学・研究機関・病院のCOI (利益相反) マネジメントガイドライン」を策定した。国公私立すべての研究者を対象とし、基礎医学研究から臨床への橋渡し研究 (トランスレーショナルリサーチ)、患者を対象とする臨床試験や治療まで、研究の質と信頼性を確保するための指針

研究の信頼性確保 利益相反GL策定

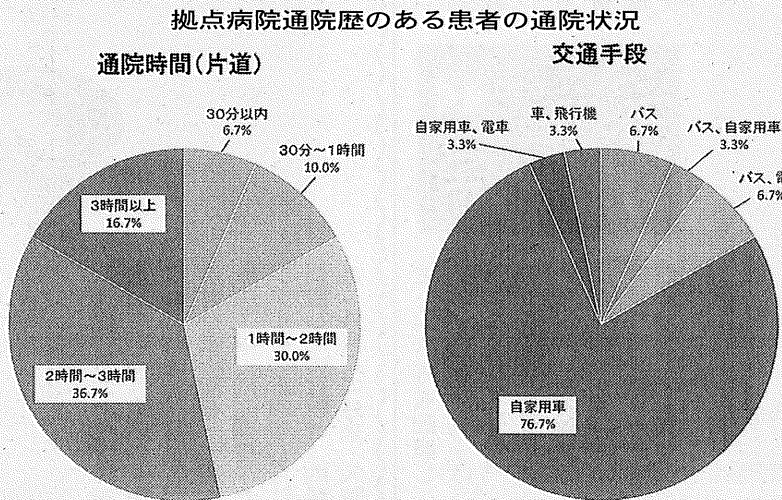
医学部長会議 医部会長

研究者が自己申告すべき項目として、▽外部活動 (企業・団体名と職名) △企業・団体からの収入 (報酬、ロイヤリティ、原稿料、講演謝礼など) △産学連携に関わる受け入れ金額 (共同研究、

抑制することも分り、正教授らの研究グループは、自己免疫性皮膚疾患である乾癬を引き起こす細胞内蛋白Tyk2 (Tyrosine Kinase) が皮膚の一番外側の角化細胞を攻撃する免疫反応によって皮膚が発赤し、かゆみ、腫瘍壊死因子

乾癬進展関与の分子同 低分子阻害剤で治

地元病院の治療に9割満足



旭医大病院腫瘍センター (鳥本悦宏教授) は、道北と道東の中核病院を対象に、がん患者・家族の通院状況や課題を聞き取るフィールドワークを実施。地元病院での診療に満足している一方、拠点病院への通院の難しさやがん治療に関する情報不足が明らかとなった。

遠隔地医療圏フィールドワーク コメディカル専門性に課題

旭医大病院 腫瘍センター

増員する大学	増員数	増員後の入学定員
地域枠		
弘前大	5	132
秋田大	2	127
筑波大	9	126
研究医枠		
神戸大	2	117
兵庫医大	2	112

来年度医学部入学定員 増員5大学20人

文部科学省は、二十六年医学部入学定員の増員計画を発表した。全国五大学で二十人増員する。地域医療従事者を条件とした「地域枠」は三大学計十六人、複数大学の連携で研究医を育てる「研究医枠」は二大学計四人、歯学部振り替え枠は三十一人増員期間は一、二年度まで。

① 1月の予定

9日(木)	第928回市立札幌病院学術研修会=市立札幌病院 ☎011(726)2211内線2121
11日(土)	公開シンポジウム「安心してケアする・される社会とは」=北大学術交流会館 Eメール北大文学研究科応用倫理研究教育センターgender@let.hokudai.ac.jp
15日(水)	第18回地域医療連携症例報告会=北海道医療センター